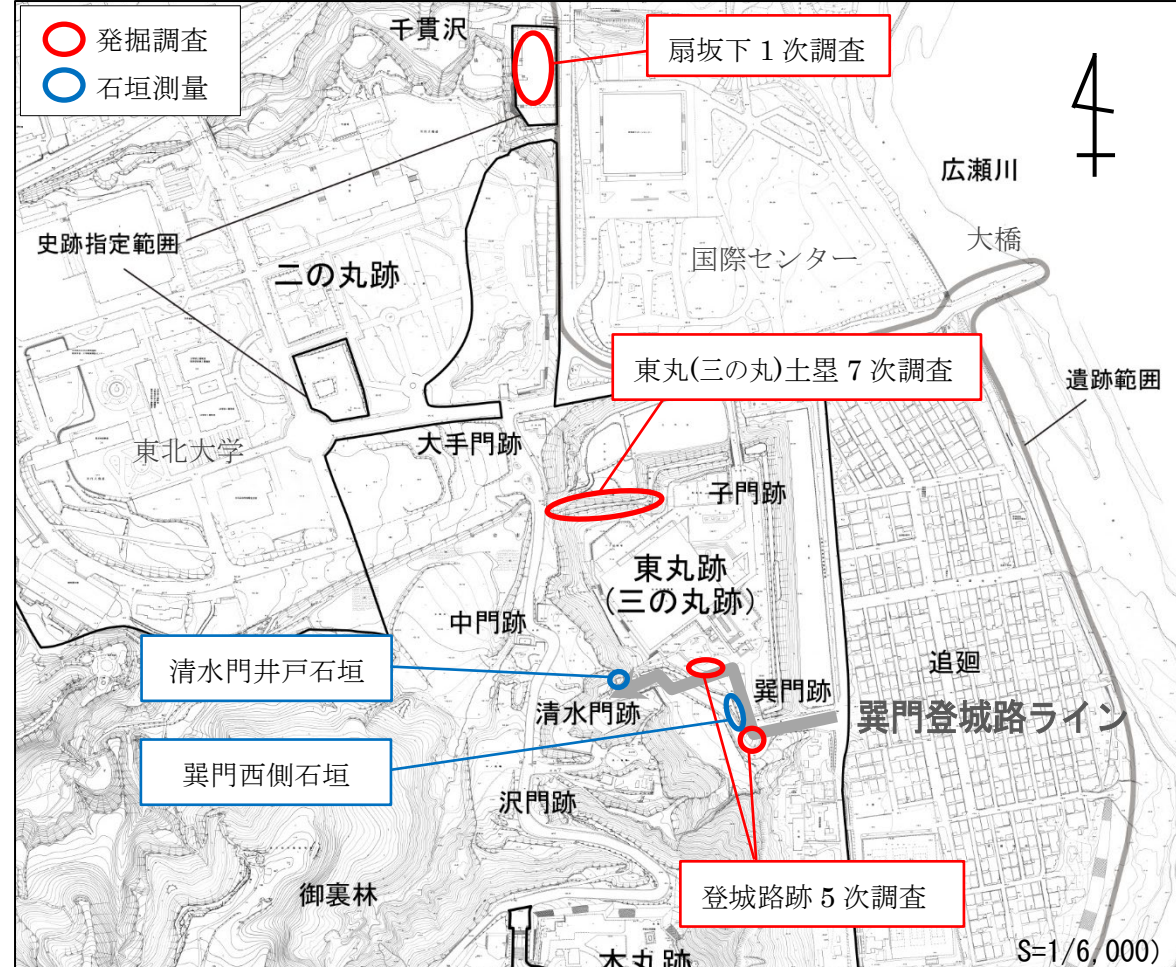


(1) 令和3年度の調査成果について (登城路跡5次・東丸(三の丸)土塁7次・扇坂下1次・石垣測量)



<発掘調査>
 ○登城路跡5次調査
 調査期間：令和3年8月1日～11月5日
 調査面積：56㎡ (1区17㎡、2区39㎡)
 ○東丸(三の丸)土塁7次調査
 調査期間：令和3年9月11日～11月12日
 調査面積：60㎡ (1区20㎡、2区40㎡)
 ○扇坂下1次調査
 調査期間：令和3年11月8日～11月19日
 調査面積：約60㎡ (1～3区：各約20㎡)

<石垣測量>
 調査期間：令和3年7月16日～12月17日
 調査面積：巽門西側石垣25㎡、清水門井戸石垣33㎡

図1 令和3年度調査箇所

①登城路跡5次調査

【1区】
 目的：登城路の範囲確認
 成果：近現代のコンクリート製構造物等によるカクラン多数、近世の路面は未検出

【2区】
 目的：巽門西側石垣の延長部の確認 (枅形の範囲確認)、登城路築造時期の解明
 成果：巽門西側石垣の南側延長部を確認、近世の遺構面を3面検出
 石垣の構築年代は18世紀～19世紀中頃 (幕末)



図2 「陸奥国仙台城当五月破損之図」 元文4(1739) 仙台市博物館蔵 に加筆

図3 登城路跡5次調査区および周辺遺構配置図 (S=1/500)



写真② 1区周辺状況 (北東から)



写真③ 2区周辺状況 (東から)

◆登城路跡 5次調査 2区



写真④ 2区 調査区全景 (南東から)



写真⑤ KS-1193 石垣立面オルソ写真 (S=1/40)

2区 基本層序

I・II層	: 現代の堆積層
III層	: 近代の盛土① (石垣が崩れた後の盛土)
IV層	: 近代の盛土② (石垣が崩れた後の盛土)
V層	: 近世の整地層 (V層上面: 遺構面①)
VI層	: 近世の整地層 (VI層上面: 遺構面②) →KS-1193 石垣構築時の整地層
VII層	: 近世の整地層 (VII層上面: 遺構面③) →KS-1193 石垣より古い時期の整地層
VIII層	: 石垣の背面盛土 (造酒屋敷の造成土?)
IX層	: 自然堆積土

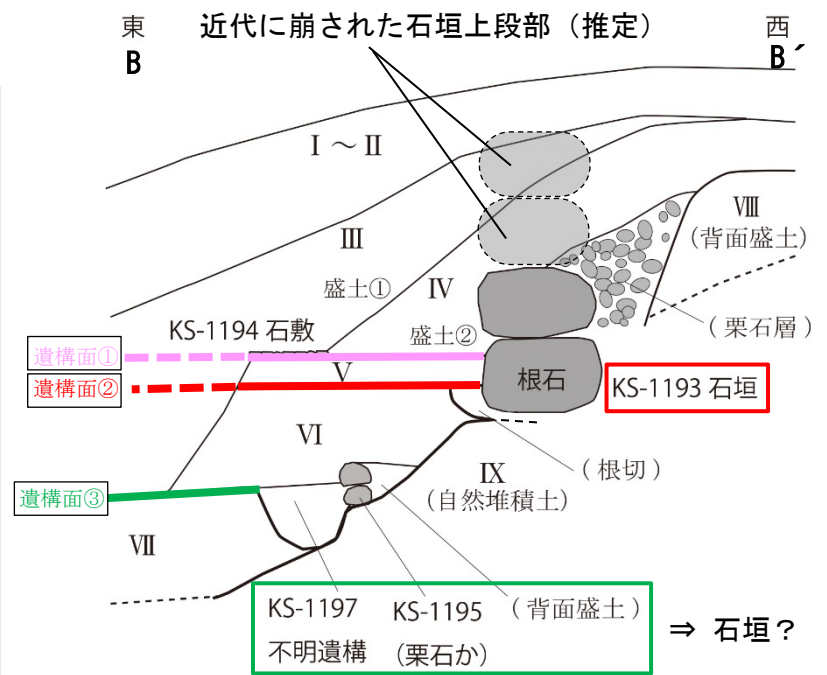
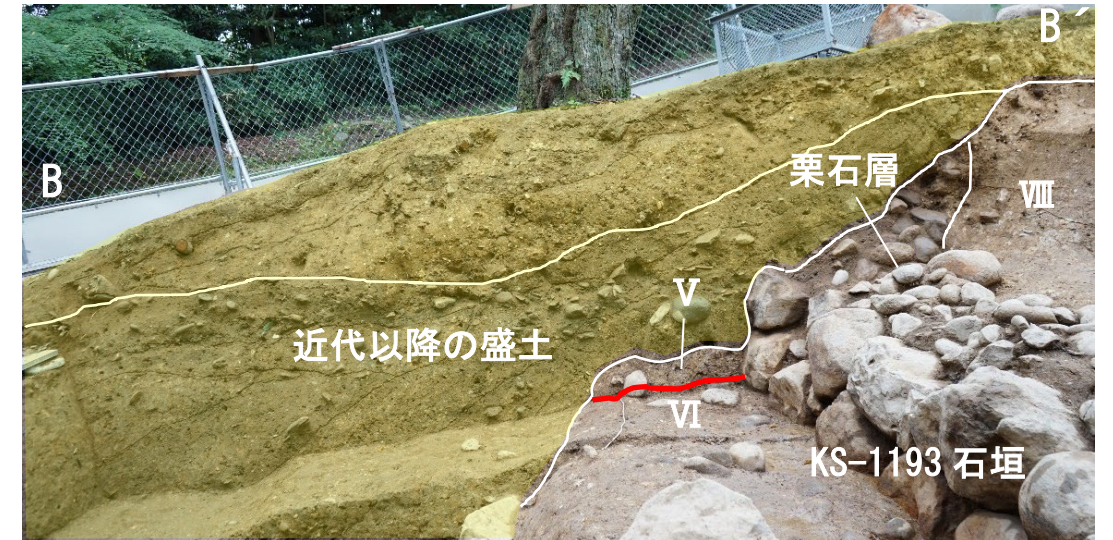
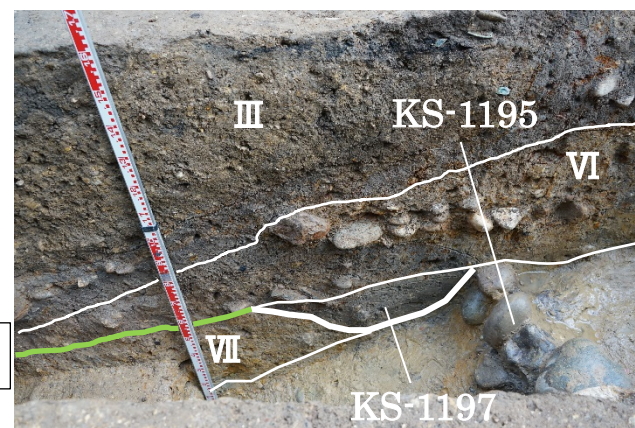


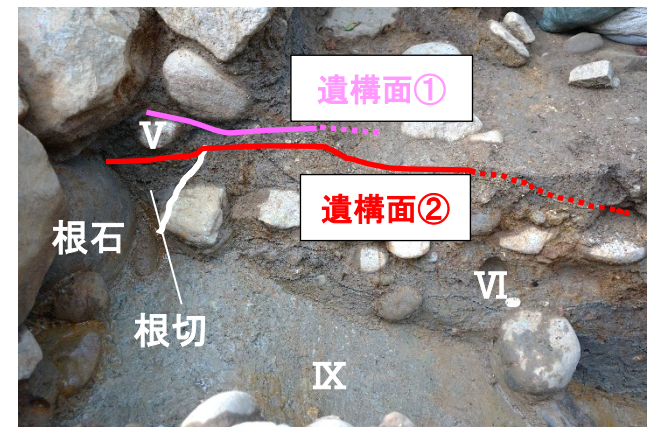
図4 登城路2区東西断面 模式図



写真⑥ 登城路2区 南壁断面 (北から)



写真⑦ 登城路2区 サブトレ南壁断面 (北から)



写真⑧ 登城路2区 サブトレ北壁断面 (南東から)

◆巽門西側石垣の履歴

元禄 7 年 (1694)	「東丸巽之門右脇石垣 (略) 崩候付築直之事、」 【 図 6 】 (元禄 7 年 11 月 29 日 老中奉書)
明治 39 年 (1906)	威容館 (本丸) 開館に伴い追廻から登坂道 (巽門を迂回する階段) を新造 【 図 7 】 (旧仙台市史 2) ⇒IV層 (近代の盛土①) か
明治 44 年 (1911)	練兵場 (追廻) から天守台 (本丸) に通ずる道路を修築 【 図 8 】 (明治 44 年 10 月 25 日 河北新報) ⇒III層 (近代の盛土②) か



図 5 「奥州仙台城絵図」正保 2 年 (1645)
仙台市博物館蔵

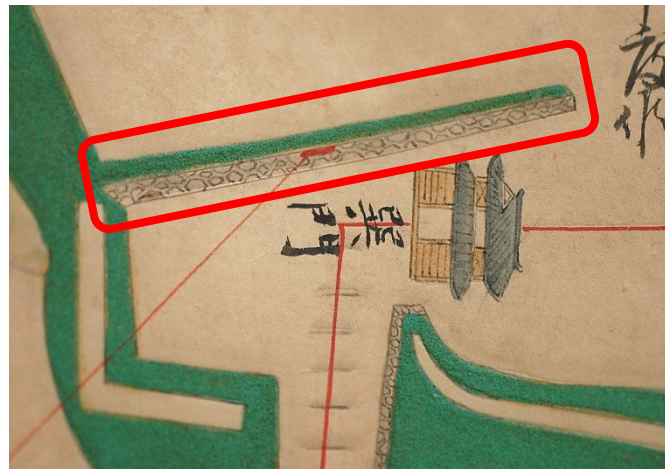


図 6 「仙台城修復窺絵図」元禄 7 年 (1694)
仙台市博物館蔵

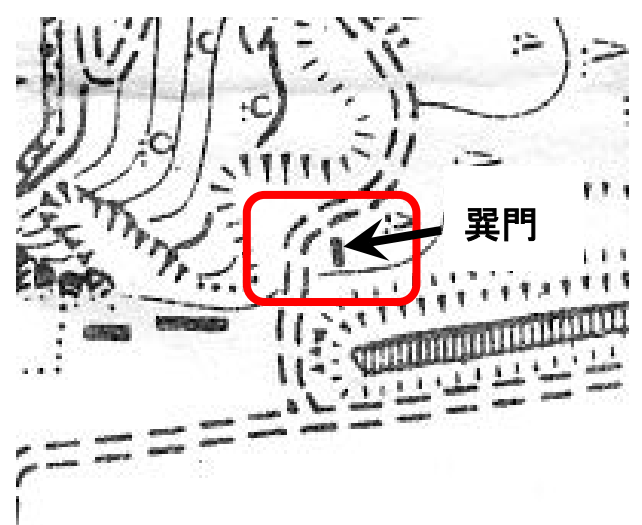


図 7 明治 38 年 (1905) 頃 地形図
『地図で見る仙台の変遷』日本地図センター



図 8 「仙台市全図」大正元年 (1912)
『絵図・地図で見る仙台 第一輯【第二版】』
今野印刷株式会社

◆登城路跡 5 次調査 2 区 出土遺物

■出土瓦

○平瓦、丸瓦多数出土、塀瓦約 5 点出土

・軒丸瓦 : 2 点出土

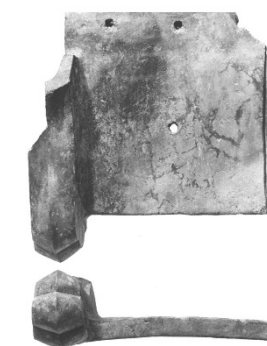
【特徴】 九曜文

・軒平瓦 : 1 点出土

【特徴】 笹文、唐草文



写真⑨ 塀瓦



写真⑩ 造酒屋出土塀瓦 (縮尺 1/12)
『仙台城跡 14 平成 30 年度調査報告書』



写真⑪ 軒丸瓦



写真⑫ 軒平瓦

■陶磁器

○KS-1193 石垣 (栗石層) から出土した碗

【特徴】 残存している腰部・高台の外表面が露体
内面は鉄釉

⇒美濃産天目茶碗 (16 世紀後半)



写真⑬ 石垣栗石層出土 碗

<類例>



写真⑭ : 山形城三の丸跡出土 瀬戸美濃産天目茶碗
『山形城三の丸跡第 9・11・13・14・16・18・
20・21 次発掘調査報告書』(山形県埋蔵文化財
センター 2020)



写真⑮ : 一乗谷朝倉氏遺跡出土 16 世紀美濃産天目茶碗
『春季特別企画展 遺跡にみる戦国・桃山の茶道具
特別出品茶の湯の名陶』(愛知県陶磁資料館 1997)

② 東丸（三の丸）土塁 7次調査

目的：土塁上面における堀跡等の確認

成果：土塁積み土を確認



図9 東丸(三の丸)土塁7次調査区配置図(1/1,000)



写真17 1区 調査区(東から)



写真18 2区 調査区(西から)

③ 扇坂下1次調査

目的：江戸時代の建物等の遺構確認、千貫沢南岸の検出

成果：全体に近代以降の盛土を確認(近現代施設によるカクランか)

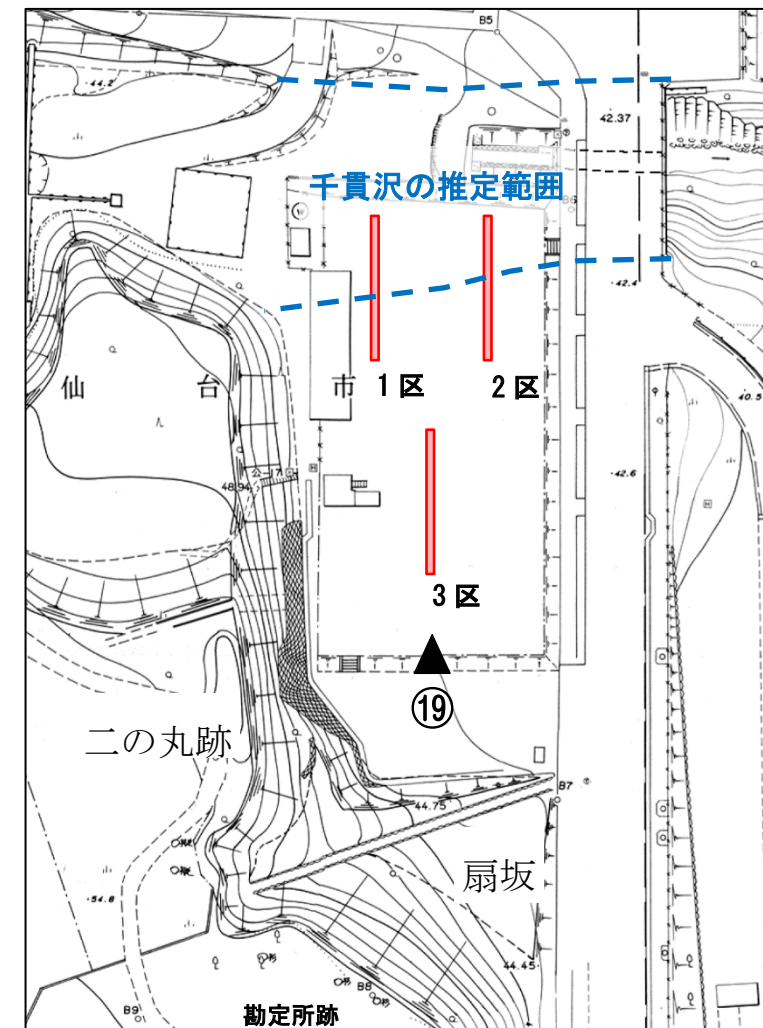


図10 扇坂下1次調査区配置図(1/1,000)

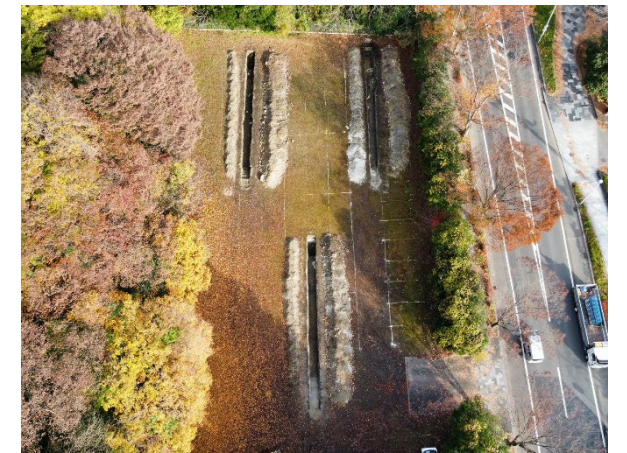
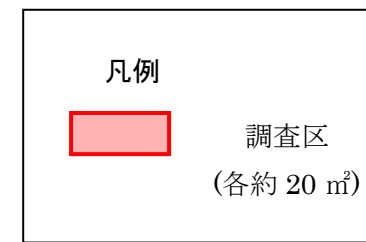


写真19 扇坂下調査区全景(南から)



◆扇坂下の履歴

近世	絵図に「下馬」の表記、厩の建物が描かれる
戦前	付近に第2師団の扇坂倉庫が置かれる
戦後	米軍施設(ボイラー施設)が置かれる
昭和50年以降?	旧仙台商業高校プール
現在	博物館第2駐車場



写真20 昭和27年米軍撮影航空写真(国土地理院)



写真21 扇坂下(米軍施設解体後か)古写真



写真22 平成5年の航空写真(国土地理院)